

広報

55 いま
市制55周年

伊万里

平成21年度 予算特集号



伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル（3月20日：国見台陸上競技場）

平成 21 年度 当初予算総額

198 億 6600 万円

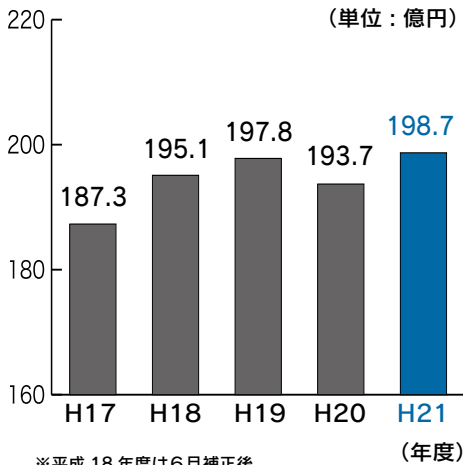
一般会計

世界的な経済危機の影響を受け、伊万里市の財政は、かつて経験したことがない深刻な状態に陥っています。

このため、平成21年度予算については、税収の減少などにより不足する財源を補うため、財政調整基金や各種基金の取り崩しなどにより緊急的に財源を確保し、工業用水道開発をはじめ新統合病院や国見中学校の建設など施設整備に重点的な投資を行いながら、限られた財源の中で、長年の懸案であった子ども医療費助成の拡大をはじめとする健康福祉分野や緊急雇用対策に配慮するなど、知恵を絞り工夫を凝らした予算の編成に努めました。

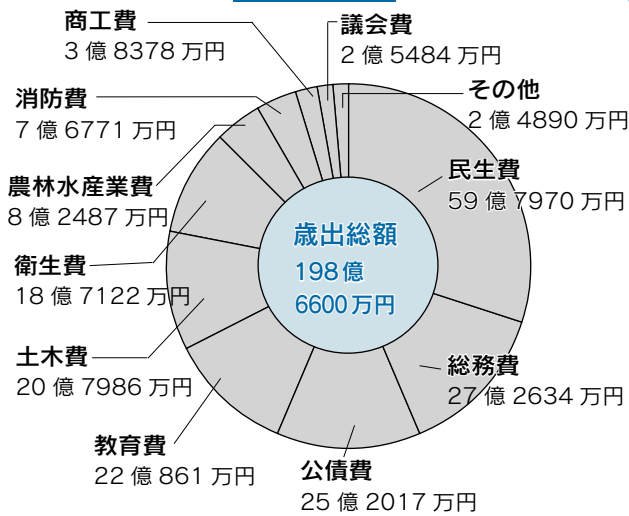
その結果、平成21年度の伊万里市一般会計当初予算は、総額で198億6600万円となりました。これは、平成20年度と比較すると、2.6%の増加となります。

一般会計予算額の年度別推移



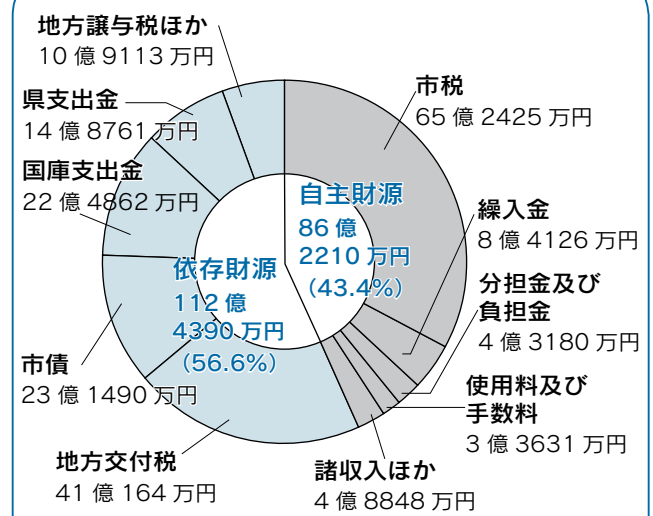
※平成18年度は6月補正後

歳出



- 民生費………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です
- 総務費………企画、男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です
- 公債費………借入金の返済に要する経費です
- 教育費………小・中学校の学校教育をはじめ、社会教育や保健体育など教育全般の経費です
- 土木費………道路、河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です
- 衛生費………保健衛生、ごみの収集・処理などに要する経費です
- 農林水産業費………農林水産業の振興に要する経費です
- 消防費………火災など災害に対応するための経費です
- 商工費………商工業や観光の振興に要する経費です
- 議会費………議会運営に要する経費です
- その他………労働費、諸支出金、災害復旧費などです

歳入



- 市税………個人と法人の市民税、固定資産税、たばこ税などです
- 線入金………基金や特別会計からの線入金です
- 分担金・負担金………災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです
- 使用料・手数料………施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです
- 諸収入………雑入などです
- 地方交付税………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです
- 市債………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です
- 国庫支出金………国からの負担金や補助金です
- 県支出金………県からの負担金や補助金です
- 地方譲与税………国税から譲与されるものです

特別会計

市では、一般会計のほか、特定の事業を行うときに、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるものとして『特別会計』を設けています。

平成21年度は、表1のとおり8つの特別会計を設けて事業を実施します。これら特別会計の予算総額は、150億6287万円となっています。

国民健康保険特別会計
国民健康保険税や国庫支出金を主な財源として、医療

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	63億9,180万円
介護保険	50億1,677万円
立花台地開発事業	1,312万円
公共下水道事業	23億2,176万円
農業集落排水事業	1億2,575万円
市営駐車場	1,295万円
老人保健	570万円
後期高齢者医療	11億7,502万円

給付を行うための会計です

介護保険特別会計
介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です

立花台地開発事業特別会計
公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です

公共下水道事業特別会計
快適な生活環境の実現をめざし、下水道整備や処理場の維持管理を行うための会計です

農業集落排水事業特別会計
農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です

市営駐車場特別会計
中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です

老人保健特別会計
75歳以上の高齢者と、70歳以上で一定の障害がある人を対象に医療給付を行うための会計です

後期高齢者医療特別会計
『後期高齢者医療制度』の適用を受ける、75歳以上の高齢者と65歳以上で一定の障害がある人から保険料を徴収し、徴収した保険料を佐賀県後期高齢者医療広域

表2 企業会計予算額

区分	水道事業	工業用水道事業	病院事業	
収益的収支	収入	13億4,931万円	8億7,429万円	11億8,464万円
	支出	13億4,931万円	8億7,429万円	11億8,464万円
資本的収支	収入	7億3,850万円	22億8,020万円	1億581万円
	支出	22億1,148万円	23億4,014万円	1億2,781万円

企業会計

連合へ納付する会計です。

市では、特別会計の中でも経営成績を明確にするため、『地方公営企業法』の適用を受けるものとして、次の3つの企業会計を設けています。それぞれ別の会計ごとの予算額は表2のとおりです。

水道事業特別会計
安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

工業用水道事業特別会計
市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表3のとおりです。

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	201億9,622万円	
特別会計	公共下水道事業	147億8,334万円
	農業集落排水事業	14億2,572万円
計	364億528万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	51億5,161万円
	工業用水道事業	153億5,848万円
	病院事業	2億9,132万円
計	208億141万円	

※平成20年度3月補正後の金額です

※主な借入先は、財務省、地方公営企業等金融機構、佐賀県、市中金融機関などです

市債現在高

市が建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから借り入れた市債の現在高は、表3のとおりです。

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です

病院事業特別会計
市民の健康保持に必要な医療を提供するため、診療報酬などを財源に事業運営や施設整備などを行う会計です

ひとつひとつ

『形』に

大型プロジェクトを着実に推進しながら
市民との協働で『元気な伊万里市』づくり

平成21年第1回定例市議会（3月議会）で、塚部市長が平成21年度の市政運営についての所信表明を行いました。ここでは、その一部を紹介します。

平成21年 第1回定例会 所信表明

はじめに

私は、平成14年4月に、市民の皆様の負託を受け、市長

に就任して以来、市民と同じ目線に立った考え方と前例にとらわれない新たな発想、そして何よりも情熱を持って、



伊万里市長
塚部 芳和

市民本位の市政運営に邁進してきました。

また、2期目にあたりましては、元気な伊万里市づくりを中心に据えた政策実行計画（マニフェスト）を定め、市政の各分野において、鋭意、施策の展開に取り組んでおり、平成21年度は、その総仕上げとなる4年目を迎えることとなります。

私は、伊万里市の市制施行55周年と重なり合うこの年が、市民の皆様の安心と真の豊かさを創造するための礎となるよう、市民との協働による市政運営に全力を傾注していきます。

時代潮流と社会情勢

100年に一度と言われる世界的な金融危機に伴い、我が国においても、輸出の激減に加え国内需要の急速な縮小により、景気は大きく悪化しており、国内主要企業の業績が落ち込むとともに、雇用不安が広がりをみせるなど、その影響は、私たちの暮らしにまでも、大きなうねりとなって押し寄せています。

私は、今回の経済危機に直面し、昨年末には、県内でもいち早く、雇用に関する緊

急相談窓口を開設するとともに、市の臨時職員へ優先的に雇用するなど、失業者への支援策を講じたところです。

国においては、景気対策、財政再建、改革による経済成長の3段階での経済財政政策が進められ、「安心実現のための緊急総合対策」と「生活対策」に加え、「生活防衛のための緊急対策」が示されたところであり、本市においても、国の経済対策の積極的な活用により、市民生活の安定に取り組んでいく覚悟です。

行財政運営方針

国の三位一体改革による地方交付税の大幅削減に加え、法人市民税など自主財源が落ち込む中で、安定した行政サービスを提供していくためには、事業の選択と集中により、歳入の規模に応じ歳出を抑制しなければなりません。

今日の未曾有の経済危機により厳しい状況にある本市の財政を健全なものとし、将来の発展につなげていくことが私の責務であり、市民の皆様とともに、市民力と地域力を結集し、安心と活力を実感できる伊万里市づくりに取り組んでいきます。

市民の願いを

5つの元気づくり政策を実現するための市政改革

●第5次総合計画策定事業 378万円

市政全般の方向性を示す重要な計画である『第5次総合計画』の基本構想、基本計画を策定します

財源 市 378万円 ▶企画政策課

●21世紀市民ゆめづくり計画支援事業 152万円

市民と行政との協働による新しい伊万里、楽しい夢のあるまちづくりを実現するため、市民のゆめづくり計画の支援を行います

財源 財産収入 43万円 市 109万円
▶男女協働・まちづくり課

●地域の元気推進事業 709万円

市民と行政との協働により、元気なまちづくりに取り組む地域を支援し、地域の自主・自立によるまちづくりを推進します

財源 繰入金 695万円 市 14万円
▶男女協働・まちづくり課

●観光振興プラン策定事業(新) 24万円

多種多様化する観光客のニーズに対応するため、行政、民間、専門家などからなる策定委員会により、観光振興プランを策定します

財源 市 24万円 ▶商工観光課

- 井手口川ダム
- 伊万里港水深13m岸壁
- 国道498号大坪バイパス
- 西九州自動車道
- 広域ごみ処理施設
- 新統合病院
- 第4工業用水道

その姿が見えてきた!



大型プロジェクトの推進

平成21年度は、本市の将来の発展を見据え取り組んできた大型プロジェクトが、私たちの前に『形』となり、その姿を現す年になるものと確信

しています。

中でも、市政始まって以来の大型事業である第4工業用水道は、最終的な仕上げに向け、当初の計画どおり着実に事業を推進していきます。

また、地域の中核的病院として整備を進めている新統合病院は、建設用地の造成工事の段階を迎え、広域ごみ処理施設は、敷地造成の基本設計および施設整備に係る基本計画の策定に取り組むなど、施設の整備に向け大きく動き出すこととなります。

さらに、福岡都市圏との時間距離を飛躍的に短縮する西九州自動車道は、昨年12月に本市における着工式を行い、現在、南波多町と山代町で橋梁の建設工事などに取り組みされており、平成22年度の完成を目指す国道498号大坪バイパスについても順調に事業の進捗が図られています。

伊万里港では、大型化するコンテナ船への対応として、水深13m岸壁の整備が進められており、成長著しいアジア諸国との貿易を中心に、国際物流港としてのさらなる発展

が期待されます。

井手口川ダムは、ダム本体のコンクリート打設が開始されたところであり、地元関係団体などと一体となって地域振興のための周辺整備計画の策定に取り組みます。

このように、それぞれに重要な時期を迎えている大型プロジェクトについて、関係機関などとの緊密な連携のもと、事業の着実な推進を図っていきます。

元気づくり政策の実現へ

少子高齢化や防災、防犯への対応など、地域の課題は多様化していることから、市民の行政需要に的確に対応していくため、地域分権の新しいまちづくりとして、地域の元気づくりに市内7地区において取り組んでいます。

平成21年度は、実施地区の拡大を図るとともに、活動への支援を行うほか、特色ある表彰制度を新たに創設するなど、市民との協働によるまちづくりの推進に努めています。

次ページからは、マニフェストに掲げた『5つの元気なまちづくり』の基本方針に基づいて取り組む主な施策と予算について説明します。

歴史や伝統文化、特産品など、地域の宝を生かした元気なまち

国内最高級の牛肉として称賛される伊万里牛のブランド力を最大限に活用し、生産振興と観光を一体的に扱う専門部署として、伊万里牛課を新たに設置します。牛喰い絶叫大会など伊万里牛を題材にしたイベントの開催や、市内の飲食店などと連携した取り組みにより、福岡都市圏などからの交流人口の拡大に努めていきます。

また、来訪者に焼き物の里を強く印象づけるため、市街地において古伊万里の積み出し港のイメージを表す修景整備を行うとともに、幹線道路沿いなどに伊万里焼のミニユメントを設置する伊万里焼ロードギャラリーの整備を推進します。そのほか観光ボランティアガイドの養成による観光客を温かく迎える体制づくりや、今後の観光振興の指針となる観光振興プランの策定に取り組みます。

さらに、本市の豊かな自然の代名詞となっているカブトガニの展示館を産卵地である多々良海岸沿いに整備するとともに、東山代町長浜干拓において、ツルの越冬地としての定着に引き続き取り組みなど、市民の自然保護への関心を高めていきます。



●伊万里牛PR事業新 120万円

伊万里牛のブランド化確立に向け、全国に広くPRするための各種イベントを行います

財源 市120万円 ▼伊万里牛課

●住みたいまち伊万里・行きたいまち伊万里推進事業(マイタウン定住奨励金) 440万円

市外居住者で、市内に土地と家屋を取得し、転入した人に奨励金を交付

します
財源 国198万円 市242万円
▼企画政策課

●元気なまちづくり大賞表彰事業新 78万円

地域の特性などを生かした元気なまちづくりを推進するため、特に優れたまちづくりに取り組む地域を表彰・顕彰します

財源 市78万円

▼男女協働・まちづくり課

●ツル越冬事業 243万円

長浜干拓におけるツルの越冬を促進するため環境整備を行います

財源 県40万円 市203万円

▼農山漁村整備課

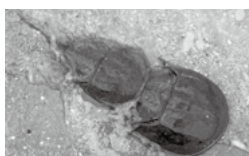
●国際アマチュア陶芸展事業 77万円

国内外からアマチュア陶芸家の作品を募集し、陶芸展を開催します

財源 繰入金26万円 市51万円

▼商工観光課

●伊万里焼ロードギャラリー事業 381万円



カブトガニ



長浜干拓に飛来したツル

『焼き物の里いまり』をアピールするため、市街地の道路沿いなどに陶磁器を利用したミニユメントを設置します

財源 国160万円 市債180万円 市41万円
▼土木管理課

●カブトガニ展示館建設等支援事業新 726万円

地元保護団体が取り組む『カブトガニ展示館』の建設事業費などに補助します

財源 繰入金50万円 市726万円

▼生涯学習課

●博物館基本計画研究事業新 12万円

博物館の建設に向け、基本構想の策定に続き基本計画の研究を行います

財源 市12万円

▼生涯学習課

●伊万里塾推進事業 70万円

地域の歴史、文化、風土、自然などの特性を生かした地域づくりを推進するため、地域の特性や課題などを踏まえた生涯学習として、各種団体と連携し、各町公民館を拠点に独自の講座などを開催します

財源 市70万円

▼生涯学習課

●ウオーキング大会開催事業 50万円

全国のウオーキングファンへ呼びかけ伊万里をPRするため『歩きたくなる街伊万里ウオーク』を開催します

財源 国20万円 市30万円

▼体育保健課

元気なまちづくり No.2

地域医療の充実と 食のまちづくりによる 日本一の健康長寿の元気なまち

市民の健康への意識を高めるため『さわやかいまり健康づくり大学』を開催します。さらに、メタボリックシンドロームなど生活習慣病の予防に向けた特定健康診査などの受診率向上をめざすとともに、特定保健指導など健康管理に対するサポートや相談体制の充実に努めます。

また、相次ぐ食品の偽装表示の問題など、食の安全に対する関心が高まる中、食育推進基本計画に基づき、望ましい食習慣の普及と健康増進を図るとともに、食のまちづくり宣言5周年を記念して食育に関するフォーラムを開催するなど、市民意識の高揚を図ります。

さらに、食生活改善推進協議会などと連携し、食生活や運動、休養など健康づくりの基本について地域での実践活動を展開し、健康なまちづくりを推進します。

●食を活かしたまちづくり事業

88万円

『食のまちづくり推進計画』に基づき、市民と行政との協働でキッズ料理教室などの食育事業を推進します

財源 市88万円

▼男女協働・まちづくり課

●シルバー人材センター支援事業

1235万円

高齢者の就業促進に取り組みシルバー人材センターを支援します

財源 市1235万円 ▼長寿社会課

●緊急通報システム事業

314万円

突発的で緊急を要する疾患などに対応するため、在宅の独り暮らしの高齢者などに緊急通報機器を貸与します

財源 市314万円 ▼長寿社会課

●敬老会開催事業

763万円

各町（地区）で敬老会を開催するとともに、地域経済の活性化と地域振興を図るため、1人あたり額面3000円の『つる・かめ敬老祝い商品券』を贈呈します

財源 市763万円 ▼長寿社会課

●病院群輪番制病院運営事業

460万円

初期救急医療（休日・夜間急患医療センター、在宅当番医制）の後方支援として、休日において入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、輪番制で開院する伊万里・有田地区内の11病院に運営費を補助します

財源 諸収入167万円 市293万円 ▼健康づくり課

●さわやかいまり健康づくり大学推進事業

4万円

市民一人ひとりが健康づくりへの関心を高め、日本一健康長寿の元気な



たっしやか体操

●中核的病院整備推進事業

3880万円

西部保健医療圏（伊万里市、有田町）の中核となる新統合病院の整備に要する経費を負担します

財源 市3880万円 ▼公的病院統合推進室

●予防接種事業

6031万円

感染症の発生を未然に防止するため、小児の各種予防接種および高齢者のインフルエンザ予防接種を実施します

財源 繰入金111万円 市5920万円 ▼健康づくり課

●感染症予防事業

190万円

感染症の発生を未然に防止するため、結核検診を行うとともに、新型インフルエンザ対策として防護服などを整備します

財源 市190万円 ▼健康づくり課

●健康増進事業

2685万円

市民の健康保持を目的に各種健康診査、健康相談などを実施します

財源 県74万円 諸収入651万円 市1960万円 ▼健康づくり課



中国での伊万里食文化交流会

企業誘致と地場産業の育成による 雇用の拡大と いきいきと働ける元気なまち

景気の後退に伴い地域経済を取り巻く環境が厳しさを増す中で、新たな雇用機会を創出するための企業誘致の取り組みについては、あらゆる機会をとらえて立地動向の把握に努めながら立地勧奨を強化し、臨海部の工業団地をはじめ工場適地などへの誘致を推進します。立地企業については、情報交換などによる円滑な事業展開の支援に努めます。また、中国・大連市をはじめ、伊万里アンテナショップが開設されている青島市などの海外市場において、伊万里焼や伊万里梨などの販路拡大を図るなど、伊万里ブランドの輸出促進に取り組みます。

●伊万里・アジアネットワーク事業

308万円

アジア、特に中国をターゲットに、伊万里の持つ資源を活用して経済交流を促進するとともに、大連海事大学『陶芸講座』への講師派遣などを行います

財源 繰入金79万円 市229万円

▼開発推進課

●ふるさと雇用再生特別基金事業(新)

517万円

●緊急雇用創出基金事業(新)

3807万円

雇用情勢の悪化を受け国からの交付

金を財源として県が創設するふるさと雇用再生特別基金事業および緊急雇用創出基金事業を活用し、地域の雇用機会の創出を図ります

▼商工観光課

財源 県4324万円

●中小企業振興資金貸付事業

1億7018万円

市内中小企業の資金調達の円滑化を図るための原資として、金融機関へ預託します

財源 諸収入1億7000万円 市18万円

▼商工観光課

●工場等設置奨励事業

3010万円

投下固定資産が2000万円を超え



七ツ島コンテナターミナル

る投資に対し、法律に基づく課税免除および不均一課税を行い、不均一課税分は翌年度に納税額を奨励金として交付し、工場などの新設、増設を図促進します

▼商工観光課

財源 市3010万円

●企業訪問等立地勧奨事業

106万円

優良企業を誘致するため、豊富で良質な労働力や東アジア地域に近い地理的優位性を積極的にPRするなど、企業訪問を中心として立地勧奨を展開します

財源 市106万円

▼企業誘致推進課



伊万里への企業立地をPR

元気なまちづくり No.4

教育・福祉の充実と 子育て支援による安心して 子どもを産み育てる元気なまち

仕事と子育ての両立を支援するため、病氣回復期にある児童を一時的に保育する病後児保育を新たに開始します。3歳から小学校就学前を対象とする医療費助成については、これまでの入院医療費と歯科医療費に限定していたものを、すべての医療費に拡大し保護者の経済的な負担の軽減を図ります。

市民図書館を核に進めている『家読』については、各町の公民館を単位とした実行委員会を設置し、さらなる活動の活性化を図るとともに、家読に取り組む自治体の首長など関係者が一堂に会する『家読サミット』を開催するなど、全国への情報発信はもとより、家読に対する市民の意識啓発に努めます。

●特別支援学校留守家庭児童健全育成事業 955万円

伊万里養護学校に通学している児童・生徒を対象に留守家庭児童クラブを運営します

財源 負担金29万円 県463万円
諸収入111万円 市352万円

▼福祉課

●子育て支援センター管理運営事業 645万円

子育て相談や多様化する保育需要に応じた一時保育、休日保育など子育て

て世代への支援を行います
財源 使用料79万円 県324万円
市242万円

▼福祉課

●留守家庭児童クラブ管理運営事業 5651万円

就労などにより昼間保護者のいない家庭の児童（小学1～3年生）に対し、安全な生活の場や遊びの場を提供し、健全な育成を図ります

財源 使用料2166万円 県2144万円
諸収入44万円 市1297万円

▼教育総務課

●一時保育促進事業 377万円

保育園において園児でない在宅の乳幼児を一時的に保育する私立保育園を支援します

財源 県251万円 市126万円

▼福祉課

●幼児インフルエンザ予防接種費助成事業 169万円

小学校就学前児童のインフルエンザ予防接種に要する費用の一部を助成し、保護者の負担軽減を図ります

財源 市169万円

▼健康づくり課

●次世代育成支援行動計画策定事業 202万円



保育園児による豆まき

平成16年度に策定した計画の見直しを行い、今後5年間の後期行動計画を策定します

財源 市202万円

▼福祉課

●病後児保育事業新 463万円

保護者が就労などにより病氣回復期の子どもを自宅で保育できない場合に、子どもを一時的に預かり安心して就労などができるようになります

財源 県309万円 市154万円

▼福祉課

●保育園運営事業 16億9757万円

市内の公立6、私立17保育園および認定こども園、市外保育園の運営に要する経費を負担します

財源 負担金3億8581万円 使用料17万円 国4億1616万円
県2億1295万円 諸収入707万円 市6億7541万円

▼福祉課

●妊婦乳児健康診査事業 4137万円

乳幼児が心身ともに健やかに育つよう健康診査を行うとともに、妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠、出産できる体制を確保するため、公費負担による妊婦検診をこれまでの5回から14回に増やします

財源 県1181万円 市29956万円

▼健康づくり課

●むし歯予防等対策事業

33万円

むし歯予防や歯周疾患予防などに効果のある乳幼児期の歯磨き教室やフッ素洗口などを行うとともに、1歳6か月児健診にあわせて保護者の歯科健診を行います

財源 市33万円

▼健康づくり課

●3歳児健康診査事業

144万円

3歳児健康診査を実施するとともに、発達障害などの疑いのある児童、保護者に対して早期発見および適切な支援に結びつけるため、幼児発達支援相談を行います

財源 市144万円

▼健康づくり課

●不妊治療エンゼルサポート事業

75万円

不妊治療における人工授精・高度生殖医療は健康保険適用外であり、治療費が高額となることから、その一部を助成し、不妊で悩む家庭の経済的負担の軽減を図ります

財源 市75万円

▼健康づくり課

●4か月児訪問事業

27万円

生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、育児に関する不安や悩みへの対応、子育て情報の提供、児童虐待の早期発見などの育児支援を行います

財源 国13万円 市14万円

▼健康づくり課



可愛い手形・足型がとれました

●学校適応指導教室事業

377万円

不登校児童・生徒の学校復帰を支援するため、生涯学習センターと旧ポリテクセンター内に学校適応指導教室「せいら」を開設します

財源 県285万円 市92万円

▼学校教育課

●スクールアドバイザー事業

299万円

教育相談の専門的な知識・経験を有するスクールアドバイザーを小学校に配置し、適切なカウンセリングを実施します

財源 県100万円 市199万円



子育て支援センター『ぽっぽ』の参加者

●学力向上対策推進事業

140万円

小・中学校の児童・生徒を対象に到達度テストなどを実施し、基礎学力の定着度合いを把握して今後のきめこまやかな指導の充実を図ります

財源 繰入金140万円

▼学校教育課

●特別支援児童生徒サポート事業

966万円

小・中学校でLD（学習障害）やADHD（注意欠陥多動性障害）など特別な支援が必要な児童・生徒に対し、

し、臨時雇職員を配置し、学習環境の向上を図り、自立を支援します

財源 繰入金63万円 市903万円

▼学校教育課

●へき地区区高等学校生徒通学費助成事業

280万円

へき地区区から県内の高校へ通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、通学費を助成します

財源 県140万円 市140万円

▼学校教育課

●きらきら伊万里つ子育て成事業

50万円

児童・生徒の豊かな心の育成や自己実現の基礎となる学力の向上をめざすため、指導資料を作成します

財源 市50万円

▼学校教育課

●小学校耐震化事業

750万円

平成18年度に実施した耐震化優先度調査に基づき、大川小、二里小、東山代小の耐震診断を行います

財源 国216万円 市534万円

▼教育総務課

●小・中学校遠距離児童生徒通学費助成事業

2422万円

遠距離通学の児童・生徒の通学手段を確保するため、スクールバスの運行や通学費などの助成を行います

財源 市2422万円

▼学校教育課



市民図書館で開かれた家読フェスティバル

●小学校プール整備事業 440万円
老朽化の著しい山代西小学校プールの過機を改修します
財源 市債330万円 市110万円
▼教育総務課

●小・中学校特別支援教育就学奨励費助成事業 170万円
特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の負担を軽減するため、就学費を助成します
財源 国85万円 市85万円
▼学校教育課

●小・中学校要保護・準要保護児童生徒就学援助事業 4108万円
経済的理由により就学困難な児童・

生徒の保護者に対し、学用品費や給食費などの就学援助を行います
財源 国19万円 市4088万円
▼学校教育課

●外国青年招致事業 918万円
市内の小・中学校に外国人英語指導助手（ALT）を派遣し、英語教育や授業の補助を行い、子どもたちに『生の英語』や外国文化に触れる機会を設けます
財源 諸収入11万円 市907万円
▼学校教育課

●中学校建設事業（国見中学校舎改築工事） 5億8235万円
老朽化の著しい国見中学校の校舎を、2か年で建設します
財源 国1億6680万円 繰入金3000万円 市債3億4830万円 市3725万円
▼教育総務課

●幼稚園空調整備事業 95万円
黒川幼稚園の2教室に空調設備を整備します
財源 市95万円
▼教育総務課

●訪問型家庭教育相談体制充実事業 130万円
家庭の教育力を支援するため、地域の子育て経験者や専門家の連携による『訪問型家庭教育支援チーム』を

設置し、家庭や企業などを訪問して家庭教育に関する情報や学習機会の提供、相談などを行います
財源 県130万円 市30万円
▼生涯学習課

●青少年相談・補導活動事業 177万円
いじめ、不登校、非行など問題行動が増加する中、子どもや家庭が抱える悩みなどを相談できる体制・環境を確立し問題の早期解決に努めます
財源 財産収入3万円 市174万円
▼生涯学習課

●放課後子ども教室推進事業 108万円
安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の人たちの参画を得て、子どもたちと共にさまざまな学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを推進します
財源 県72万円 市36万円
▼生涯学習課

●ブックスタート事業 33万円
生後3か月の赤ちゃんとその保護者に、3か月児健診時に絵本を配付するとともに、ボランティアと協働で読み聞かせを行います
財源 市33万円
▼市民図書館

●家読推進事業 111万円

読書を通じた家族のコミュニケーションを促進するため、市内13地区で家読実行委員会を組織し、事業の推進、拡大を図るとともに、読書を通じたまちづくりを進めるため、家読に取り組んでいる自治体の首長を招き『家読サミット』を開催します
財源 諸収入6万円 市105万円
▼市民図書館

●学校給食センター管理運営事業（学校給食完全米飯化事業） 152万円
地元産米の消費拡大を図るとともに、食材高騰に伴う保護者の負担が増大しないよう、学校給食の完全米飯化を行います
財源 市152万円
▼体育保健課



伊万里産のお米は美味しいぞ

教育・福祉の充実と子育て支援による
安心して子どもを産み育てる元気なまち

活力ある農林水産業の育成と 商業を中心とする 中心市街地が輝く元気なまち

農業・農村の活性化策として注目されているグリーン・ツーリズムへの取り組みとして、都市との交流に意欲的な団体などとの連携により『伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会』を設立し、子ども農家民泊や農作業体験の機会を提供するなど、さらなる交流人口の拡大に努めます。

また、本市独自のイベントとして定着している『畑の中のレストラン』の取り組みの中で、伊万里農林高校や佐賀県猟友会伊万里支部などと連携し、市内で捕獲処理されたイノシシの肉を活用したソーセージなどの加工品開発を進めていきます。

一方、中心商店街については、集客力が低下し、空き店舗が増加しており、イベントの開催を支援するなど賑わいづくりを促進するほか、伊万里本町名店街協同組合が取り組むアーケード撤去を支援するとともに、景観と調和した道路整備を行います。



農家民泊で食材ゲット

●グリーンツーリズム推進事業

80万円

本市の特色ある農畜水産物の魅力を市内外にPRすることにより、農畜水産物の評価向上と地域間交流を促進し、農業・農村の活力増進を図ります。また、伊万里農林高校や佐賀県猟友会伊万里支部などによる伊万里の新たな特産品（イノシシソーセージ）づくりの研究開発に取り組みとともに、5年後に始まる『子ども

も農山漁村交流プロジェクト』を視野に、受入体制の整備を行います。
財源 市80万円 ▼農業振興課

●米・麦・大豆競争力強化対策事業(新)

1601万円

水田農業の担い手の経営安定と競争力のある売れる米・麦・大豆づくりを推進するため、担い手自らが将来の経営発展に向けて策定した『効率的生産確立計画（仮称）』の実現に必要な取り組みを支援します
財源 県1231万円 市370万円



畑の中のレストラン



●中山間地域等直接支払交付金事業

1億7963万円

中山間地域における農業生産条件の是正、耕作放棄地の発生防止、水源かん養などの多面的機能の維持増進を図るため、交付金を交付します
財源 県1億3500万円 市4463万円 ▼農業振興課

●国営伊万里土地改良事業担い手農家負担金助成事業

103万円

担い手農家の土地改良事業負担金償還を軽減するため補助を行います
財源 県51万円 市52万円 ▼農業振興課

●有害鳥獣対策事業

355万円

農作物に深刻な被害をもたらす有害鳥獣の駆除に要する経費や駆除従事者の確保のための狩猟免許取得に要する経費を助成します
財源 市355万円 ▼農業振興課

●水田農業構造改革対策特別事業

207万円

米政策改革を円滑に推進する中で、水田農業における需給調整や担い手の育成・確保による生産活動の集積化など、水田農業の構造改革を促進するため、その活動母体となる生産組合に補助を行います
財源 市207万円 ▼農業振興課



伊万里農業未来塾

●農地・水・環境保全向上対策（営農活動支援）事業 159万円

農地などの良好な保全とその質的向上を図ることで地域の振興につなげるため、地域ぐるみでの共同活動や農業者ぐるみでの先進的な営農活動を支援します

財源 県5万円 市154万円

▼農業振興課

●若い農業者就農促進事業 60万円

就農前の技術取得を促進し、優れた技術・経営能力を持った青年農業者を確保するため、就農研修資金の償還額の一部を助成します

財源 市60万円

▼農業振興課



伊万里牛



伊万里産きゅうり



伊万里梨

●『伊万里農業未来塾』新規就農者育成確保推進事業 30万円

新規就農希望者を対象に、農作物の栽培管理や農機具の操作などの講習、指導を行う『伊万里農業未来塾』を開催します

財源 県15万円 市15万円

▼農業振興課

●強い園芸農業確立対策事業（新） 1175万円

園芸農業を振興するため、農業者で構成する営農集団などが行うハウス施設や省力化機械などの整備を支援します

財源 県904万円 市271万円

▼農業振興課

●全国ナシ研究大会事業（新） 16万円

平成22年に伊万里市を主会場に開催される『全国ナシ研究大会』に向けた準備に取り組みます

財源 市16万円

▼農業振興課

●畜産自給力強化対策事業 1093万円

伊万里産の肥育素牛の生産拡大を図るとともに畜産農家と耕種農家が連携した資源循環型農業を推進するため、牛舎およびふん尿処理施設・機械の整備や自給飼料の増産を図るための機械などの導入に助成します

財源 県841万円 市252万円

▼伊万里牛課

●小規模土地改良事業 500万円

国、県の採択基準に適合しない農道舗装、水路改良などの小規模な土地改良事業を支援します

財源 市500万円

▼農山漁村整備課

●農地・水・環境保全向上対策（共同活動支援）事業 1634万円

農村地域の適切な地域活動の継続により、農地、農業用水などの資源および農村環境が将来的にわたり良好な状態で保全管理され、その質的向上が図られるよう地域ぐるみの共同活動への支援を行います

財源 県80万円 市1554万円

▼農山漁村整備課

●ため池等整備事業 1917万円

災害の未然防止、農地の保全、農業生産の維持および農業経営の安定を図るため、老朽ため池を改修します

財源 分担金383万円 市債1290万円 市244万円

▼農山漁村整備課

●農免農道整備事業 1155万円

松浦町藤川内地区の農免農道の整備費（営農事業）の一部を負担します

財源 市債1030万円 市125万円

▼農山漁村整備課



老朽ため池を関係機関でパトロール

活力ある農林水産業の育成と商業を中心とする中心市街地が輝く元気なまち

● 海岸保全事業 150万円

東山代町長浜干拓の高潮対策工事費（県営事業）の一部を負担します

財源 市債130万円 市20万円

▼ 農山漁村整備課

● 中山間地域総合整備事業 3371万円

二里、東山代、山代地区の農業生産基盤などの整備費（県営事業）の一部を負担します

財源 分担金1061万円 市債1900万円 市410万円

▼ 農山漁村整備課

● 農業用河川工作物応急対策事業（新） 1905万円

損傷している有田川可動堰の油圧設備の改修を行います

財源 県1757万円 市148万円

▼ 農山漁村整備課

● 森林施策計画策定事業 14万円

森林整備地域活動に取り組んだ47団地分の森林施策計画について、造林事業の円滑な推進を図るため、5年ごとに計画を更新します

財源 市14万円

▼ 農山漁村整備課

● 伊万里産木材利用促進事業 240万円

不採算性から間伐材の活用促進が困難な状況であるため、木材の搬出に係る経費の一部を助成することによ



木工芸センター・ピノキオの家

り、地元材の活用を促すとともに、林業経営の安定化を図ります

▼ 農山漁村整備課

● 林道整備事業 563万円

県代行事業として整備を進めている林道の境界杭設置などを行うとともに、市で購入する必要がある用地（山林、原野）を購入します

財源 市債110万円 市453万円

▼ 農山漁村整備課

● 木工芸センター改修事業 280万円

供用開始以来20年を経過する木工芸センター（ピノキオの家）が、腐食などにより劣化が進行しているため、利用者が安全に利用できるよう改修工事を行います

▼ 農山漁村整備課

● 内水面漁業放流事業 3万円

大川町漁業協同組合が行う稚魚の放流事業に対し補助します

財源 市3万円

▼ 農山漁村整備課

● 水産物販売促進事業（新） 700万円

波多津漁港利用者や波多津ふれあい広場の便所建設費を補助し、来訪者が快適に利用できる環境を整え、市内水産物の販売促進と水産経営の安定化を図ります

財源 市700万円

▼ 農山漁村整備課

● 商店街活動強化事業（本町名店街再生支援事業費補助金）（新） 109万円

老朽化が著しい本町アーケードの撤去に係る地元負担を軽減するとともに、撤去後のまちづくりなどへの取り組みを支援します

財源 市109万円

▼ 商工観光課

● 街づくり活動支援事業 34万円

中心市街地の活性化を図るため、伊万里商工会議所などが実施する中心市街地の活性化につながる事業を支援します

財源 市34万円

▼ 商工観光課

● いまり秋祭り事業 156万円

『いまり秋祭り』を運営する振興会の活動を支援します

財源 市156万円

▼ 商工観光課

● 本町通り線改修事業（新） 3923万円

老朽化が著しい本町アーケードの撤去に伴い、本町通り線の舗装改修、側溝の整備を行います

財源 市債3600万円 市323万円

▼ 商工観光課



波多津ふれあい広場で海鮮バーベキュー

その他の新規事業

●市制55周年記念式典事業

175万円

市制55周年を記念して式典（11月3日予定）を開催し、市政功労者などの表彰を行うとともに、『伸びゆく伊万里』展として会場内に産業、都市、教育などの分野別に写真パネルなどの展示を行います

財源 市175万円 ▼秘書課

●障害者福祉総務事業（障害者福祉施設駐車場整備業務委託）

95万円

車いすなどでの利用がしやすくなるよう、上伊万里障害者福祉施設の駐車場を舗装します

財源 市95万円 ▼福祉課

●佐賀心理リハビリテーションセンター支援事業

4万円

脳性麻痺などの障害のある子どもを対象にした『心理リハビリテーションキャンプ』の開催を支援します

財源 市4万円 ▼福祉課

●路線バス運行事業（新たな路線バス実証運行委託料）（東山代『元気バス（仮称）』運行事業費補助金）

1445万円

既存の路線バスの経路となっていない

い地域において、移動制約者を対象とした交通手段を確保するため、新たな路線バスを運行します。また、東山代『元気バス』事業に対し補助します

財源 市1445万円

▼商工観光課

●伊万里市観光協会事業（グルメマップ作成費補助金）

25万円

市内の食事処の紹介のほか市の主要な観光スポットを盛り込み、観光情報媒体として大きな役割を果たしているグルメマップの再作成に対して補助します

財源 市25万円

▼商工観光課

乳幼児の医療費助成を拡大

●医療費助成事業（乳幼児医療費助成事業・3歳から就学前児童の助成対象医療費の拡大）

8261万円

就学前児童の医療費の助成対象を拡大し、平成21年4月分から入院・通院・歯科いずれも一定の自己負担を除き、助成します

財源 県3343万円 諸収入84万

●煤屋川改修事業関連市道煤屋3号線拡幅事業

195万円

総合流域防災事業で改修を行っている煤屋川の管理道路と兼用となる市道煤屋3号線の拡幅工事を行います



東山代『元気バス』運行開始式

●3歳から就学前児童の医療費助成

【改正前】

【改正後】

★入院 2分の1助成 → 全額助成

★通院 助成なし → 全額助成

★歯科 全額助成 → 全額助成

※いずれも自己負担500円が必要です

※0歳から3歳未満の乳幼児は、従来から入院・通院・歯科いずれも全額助成（自己負担300円）です

財源 市4834万円 ▼福祉課

財源 市195万円

▼建設課

●伊万里津景観形成事業

300万円

かつて『古伊万里』の積出港だった伊万里津のにぎわいを中心市街地に取り戻すため、伊万里川河畔に往時の伊万里津を再現した壁画を設置します

財源 繰入金237万円 市63万円

▼都市開発課

●住宅・建築物安全ストック形成事業

310万円

国内では使用されていないとされてきた3種類のアスベストについて、新基準に基づき調査する必要があるため、市営住宅全棟44か所のアスベスト含有分析調査を行います

財源 国310万円 ▼建設課

●市民体育大会開催事業

57万円

スポーツが盛んで心身ともに健やかな人と地域づくりをめざし、市民総参加による体育祭（10月25日予定）を開催します

財源 市57万円 ▼体育保健課

●『ドリームベースボール』開催支援事業

100万円

プロ野球の名球会やOBクラブを招き『ドリームベースボール伊万里』を開催する実行委員会に対し、開催経費を補助します

財源 市100万円 ▼体育保健課



平成21年度 予算特集号

- 発行日／平成21年4月15日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係
(0955)23-4313 (ダイヤルイン)
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／山口印刷株式会社